

## ベナン月報(2015年12月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 10日, コトヌ市友好スタジアムでケレク前大統領の国葬が催され, ヤイ大統領及びナイジェリア, ニジェール, トーゴの各大統領及び周辺国の要人が参列した。
- 22日, 国民議会で1兆5529億 FCFA の2016年国家予算案が成立した。
- 26日, ザンス首相を乗せた政府専用ヘリコプターがジュグ市のスタジアムに緊急着陸する際, 高さ4~5メートルで失速し地面に衝突し, 乗員2名が軽傷を負った。
- 12月, 各地でさまざまな市民団体・政治団体がそれぞれの支持候補者を表明した。報道された主な候補者はザンス首相, 実業家タロン氏, アジャボン・ベナン経団連会長, クパキ前首相, ビオ・チャネ前西アフリカ開発銀行頭取。

#### 【外政】

- 17日, アブジャで ECOWAS 首脳会議が開催され, ヤイ大統領が出席, ベナンは2016年ー2018年の ECOWAS 委員長国に選出された。

#### 【経済】

- 世銀および英企業プライスウォーターハウスクーパースの調査によると, ベナンは平均法人課税率63.3%と, アフリカの中でも非常に高く, 徴税手続にも多大な時間を要する。
- アジャララ地域のモノ川における水力発電ダム建設の起工式が開催され, ヤイ大統領, トーゴのニヤシンベ大統領が出席した。本計画は中国エクシム銀行による2660億 FCFA の支援によるもの。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matin Libre 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および, L'économiste 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ 1日, パラク市は同市の2016年予算が34億 FCFA に上ることを発表した。(2日, La Nation 紙)
- ・ 8日, ベナン・ニジェール間鉄道運営会社ベニレイルの労働者組合は会見を開き, 裁判所の決定によって現在中断している仏企業ボロレによる工事の再開を求める声明を発表した。(9日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 10日, コトヌ市友好スタジアムでケレク(M.Mathieu KEREKOU)前大統領の国葬が催され, ヤイ大統領, ナイジェリア, ニジェール, トーゴの各大統領及び周辺国の要人が参列した。(11日, 12日, 各紙)
- ・ 16日, ベナン初となる海洋気象ブイの導入式典が行われ, アビオラ(M.François Adebayo ABIOLA) 高等教育・科学研究担当副大臣及びベジ・ヴィアオ(Mme.Christine GBEDJI-VIAHO)水大臣が出席した。(17日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 21日, ヤイ大統領は大統領府にダントツパ市場の店舗経営者を招き, 来月2日から開始さ

れる予定の市場再建工事のため、一時的な立ち退きなどに関する理解を求めた。(22日, La Nation 紙)

- ・ 22日, 国民議会で1兆5529億 FCFA の2016年国家予算案が成立した。(24日, La Nation 紙)
- ・ 28日, ヤイ大統領は国民議会において, 憲法第72条に基づく議会への施政報告として10年間のヤイ政権における施政の総括及び今後の展望につき演説を行った。(29日, La Nouvelle Tribune 紙)

#### 【大統領選関連】

- ・ 15日, 指導監督評議会(COS/LEPI)は15日に予定されていた大統領選挙の恒久電子化選挙人名簿(LEPI)の公表が来週22日に延期される旨発表した。(17日, La Nation 紙)
- ・ 29日, COS/LEPI から独立国家選挙管理委員会(GENA)に対し, LEPI が提出された。今回登録された有権者は472万6923人。(30日, La Nation 紙)
- ・ ナゴ(M. Maturin NAGO)前国民議会議長が党首を務める政党FDUは存続の危機に瀕している。既にナゴ前国民議会議長以外の所属議員3名はそれぞれアジャボン (M.Sebastien AJAVON)ベナン経団連会長, 実業家タロン氏(M.Patrice TALON), ザンス首相の支持を表明しており, 今後のナゴ前国民議会議長の動向が注目される。(30日, Le Matin 紙)
- ・ 12月, 各地でさまざまな市民団体・政治団体がそれぞれの支持候補者を表明した。報道された主な候補者はザンス首相, タロン氏, アジャボン氏, クパキ(M.Pascal Irenée KOUPAKI)前首相, ビオ・チャネ(M.Abdoulaye BIO THCANE)前西アフリカ開発銀行頭取。(12月当地各紙)

#### 【治安】

- ・ 2015年, コトヌ高等裁判所重罪院では, 13件の児童暴行に関する事案が審議され, 被告人は5年から8年の強制労働の刑が言い渡された。(4日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 1日, ナティティング市の違法ガソリン倉庫で爆発があり, 周辺の建物などが焼失した。この火事で死傷者は発生しなかった。(2日, La Nation 紙)
- ・ 8日深夜から9日未明にかけて, Le Matinal 紙ボルグ・アリボリ県責任者のドニヨン(M.Clément DOGNON)記者がパラク市の自宅で武装強盗に殺害された。(11日, La Nation 紙)
- ・ 26日, ザンス首相を乗せた政府専用ヘリコプターがジュグ市のスタジアムに緊急着陸する際, 高さ4~5メートルで失速し地面に衝突し, 乗員2名が軽傷を負った。(28日, La Nation 紙)

#### 【外政】

- ・ 11月30日よりパリで COP21が開催され, ヤイ大統領が出席した。(1日, La Nation 紙)

- ・ (11月30日)在ベナン日本国大使館で塚原駐ベナン日本大使による2015年の日ベナン関係についての記者会見が開催された。(1日, La Nation 紙)
- ・ 1日, 在ベナン日本国大使館で天皇誕生日記念レセプションが開催され, アザンデ(M.Placide AZANDE)内務大臣をはじめとするベナン政府関係者や外交団が出席した。(3日, La Nation 紙)
- ・ 4-5日, 南ア(ヨハネスブルグ)で中国・アフリカ協力首脳会議(FOCAC)が開催され, ヤイ大統領が出席した。
- ・ 5-7日, ブルンジでヌクルンジザ大統領の3期目就任は憲法違反だと抗議する反体制派と, 当局の間の武力衝突が続いている問題で, AU は仲裁のために7日にヤイ大統領を特使として派遣することを決定したが, ヌクルンジザ大統領の予定の問題から着陸許可が下りず, 実現しなかった。(7日, 8日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 15日, アリ・アルムサイリム(M. Faisal Sulaiman ALI AL-MUSAILIM)新クウェート大使がヤイ大統領に信任状を奉呈した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 17日, アブジャで ECOWAS 首脳会議が開催され, ヤイ大統領が出席, ベナンは2016年-2018年の ECOWAS 委員長国に選出された。(17日, 18日, La Nation 紙)
- ・ 21日, コトヌ市で第34回ニジェール川流域機構閣僚会議が開催され, ザンス(M.Lionel ZINZOU)首相が出席した。(22日, La Nation 紙)

#### 【経済】

- ・ 世銀および英企業プライスウォーターハウスクーパースの調査によると, ベナンは平均法人課税率63.3%と, アフリカの中でも非常に高く, 徴税手続にも多大な時間を要することから, 税制度がベナン経済の足枷となっている。(4日, L' économiste 紙)
- ・ 米企業マスターカードの2015年アフリカ都市成長指数(2015 MasterCard African Cities Growth Index)によると, コトヌ市は調査対象の全74都市中37位。1位はアクラ。(7日, L' économiste 紙)
- ・ 3日, コトヌ市は約1年間中断されていたベナフリック社との提携による都市交通サービス(都市バス)を再開した。(3日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 11日, IMF は最新版のベナン経済指標を発表した。(22日, La Nation 紙)
- ・ 26日, アジャララ地域のモノ川における水力発電ダム建設の起工式が開催され, ヤイ大統領及びトーゴのニヤシンベ大統領が出席した。本計画は中国エクシム銀行による2660億FCFA の支援によるもの。(28日, La Nation 紙)

(了)